

緊急事態等における食品安全委員会の情報提供の充実について（案）

平成 21 年 7 月 29 日

食品安全委員会事務局

1 情報提供の充実の必要性

消費者庁設置後は、食品安全行政に関する司令塔機能は同庁に移行し、今後、食品安全委員会においては、緊急事態等におけるリスク評価機関としての役割である消費者等に危害物質の健康影響等の情報提供等が一層重要になる。

これまで、緊急事態等における食品安全委員会の情報提供については、平成 20 年度緊急時対応専門調査会での検討等を踏まえ、事態の進展に応じた情報提供を行う判断の目安について「緊急事態等における食品安全委員会の情報提供のあり方について」を策定した。同時に化学物質・汚染物質に係る基本的なプレスリリース資料の定型を準備した。

今後、更に緊急事態等に国民に対し、これまで準備した以外のハザード等に対応した健康影響等についても一層迅速で理解しやすい*情報提供ができるようプレスリリース資料等説明資料の内容や表現等の充実を図る必要がある。

2 情報提供の充実の方策

緊急事態等において、一層迅速で理解しやすい情報提供に対応するため、事案の対象とするハザード等の分類・種類等や健康影響の程度等に分類した定型的なプレスリリース資料等を拡充する。（別紙参照）

（1）分類方法

ハザード等や健康影響の程度等により以下のとおり分類する。

ア ハザード等の分類・種類等**（ア）ハザード等の分類**

ハザード等の分類を、化学物質、微生物・ウイルス等、自然毒等、遺伝子組み換え食品の 4 つに分類する。

※ 理解しやすい：ここでは、緊急事態において、国民が理解しやすく、国民から誤解されないことを意味する。

(イ) ハザード等の種類等

ハザード等の分類に応じ、ハザードの ADI や TDI 等の設定の有無、対象食品の通常の喫食方法等により分類する。

i 化学物質

ADI や TDI 等の設定がある場合の事例としてはメタミドホスやジクロルボス等の農薬、カドミウム等の汚染物質がある。また、ない場合の事例としては発癌物質がある。なお、これらには器具・包装容器等から溶出する物質も含む。

ii 微生物・ウイルス等

各種食中毒菌やウイルスが事例となるが、対象食品の通常の喫食方法が加熱する場合及び生食の場合で区別する必要があるリステリア菌等がある。

iii 自然毒等

ADI や TDI 等の設定がある場合の事例としてはアフラトキシン B₁ 等一部カビ毒等がある。また、ない場合の事例としてはスギヒラタケやカビ毒等がある。

iv 遺伝子組み換え食品

諸外国の安全性が審査されている場合の事例としては未審査遺伝子組み換えトウモロコシ B t 1 0 がある。また、審査されていない場合の事例としては海外未審査農産物がある。

イ 健康影響の程度等

健康影響の程度等を、現時点の被害の有無や今後の健康影響の想定の有無により、「①現時点で健康影響は確認されていない、科学的知見に基づき今後も影響は想定されない」、「②現時点で健康影響は確認されていないが、科学的知見がないあるいは十分でなく、今後の影響は不明」、「③現時点で健康影響が確認されているまたは今後影響が想定される」の3つに分類する。

(2) 分類による定型的なプレスリリース資料等の整備

(1) において分類したハザード等の分類・種類等や健康影響の程度等

のパターンをそれぞれ組み合わせ、定型的なプレスリリース資料等を整備する。

なお、整備に当たっては、「緊急事態等における食品安全委員会の情報提供のあり方について」との整合に留意する。

緊急事態等においてハザード等に対応し充実すべき情報提供の場合分け(例)

ハザード等の分類・種類等			健康影響の程度等	現時点で健康影響は確認されていない、科学的知見に基づき今後も影響は想定されない	現時点で健康影響は確認されていないが、科学的知見がないあるいは十分でなく、今後の影響は不明。	現時点で健康影響が確認されているまたは今後影響が想定される	備考 作成の有無 や 今後想定される事案の例など
			①	②	③		
ハザード等の分類	ハザード等の種類等						
化学物質	ADIやTDIの設定の有無	あり	[ハザードの事例] メタミドホス、ジクロロポス、アセタミプリド	◎			◎ H20訓練時に作成 (X国産の農産物口口から カドミウムが検出された。)
		なし	[ハザードの事例] 発癌物質				
微生物・ウイルス等	対象食品の通常の喫食方法	加熱	[ハザードの事例] リステリア菌、ボツリヌス菌、腸管出血性大腸菌(O157)、腸炎ピブリオ、黄色ブドウ球菌、カンピロバクター、サルモネラ菌等				● 食品〇〇からリステリア菌が検出された。 ● 食品〇〇からボツリヌス菌が検出された。
		生食	[ハザードの事例] ノロウイルス、リステリア菌、ボツリヌス菌、腸管出血性大腸菌(O157)、腸炎ピブリオ、黄色ブドウ球菌、カンピロバクター、サルモネラ菌等				● 食品△△からリステリア菌が検出された。 ● 食品△△からボツリヌス菌が検出された。
自然毒等	ADIやTDI等の設定の有無	あり	[ハザードの事例] アフラトキシンB1等一部カビ毒、フグ毒、麻痺性貝毒等				● 〇〇産のムール貝の可食部から麻痺性貝毒が検出された。
		なし	[ハザードの事例] スギヒラタケ、カビ毒、マリトキシシン等				
遺伝子組み換え食品	国内安全性審査の有無(諸外国の審査の有無)	あり	[ハザードの事例] 未審査遺伝子組み換えトウモロコシBt10				● 未審査遺伝子組み換えとうもろこしが混入した種子により生産されたとうもろこしが販売され、一部消費された。
		なし	[ハザードの事例] その他海外未審査農産物				